

荷姿



商品名	荷姿	備考
テクニカメント (白・灰)	20kg / 袋	洗い出し工法専用セメント
テクニカメント下塗材	20kg / 袋	洗い出し工法用接着増強下塗材 施工面積：約15㎡ (1mm厚)
アピアスプレー	5kg / 缶	4缶入り / ケース 洗い出し工法用硬化遅延剤 施工面積：20~25㎡ / 缶

使用工具



- 高速ハンドミキサー
- パワーミックス
- モルタルミキサー
- 水計量バケツ
- 練りダル (50 L 程度)
- 各種コテ・木ゴテ・定木
- 2行バケ・6行バケ・チリバケ
- ローラー
- チリトリ
- 電動式噴霧器
- ハンドスプレー
- スタイロフォーム
- 亀の子ダワシ
- 洗い用スポンジ
- デッキブラシ
- ワイヤブラシ
- スポンジスリッパ



アピアスプレー散布には、電動式噴霧器や加圧式噴霧器が便利です。

下塗材 混練り



1. 水 (5L) を練りダルに入れます。
2. 水にテクニカメント下塗材 (20kg) を加えハンドミキサーでダマができないように均一に混練りし、やわらかいペースト状になるように水量を調節してください。

※使用した道具はすぐに水洗いしてください。硬化すると洗えなくなります。

上塗材 混練り



- モルタルミキサーにテクニカメント (20kg)、玉砂利、水 (約8L) を加えて、ポツテリとした硬さに混練りしてください。水量は適宜調整してください。
- 混練りした材料は、30分以内に使い切ってください。時間がたってからの材料の練り足し・練り返しは厳禁です。

※上塗材の練り上がり温度が30℃を超えると、硬化が早くなるので、ご注意ください。
※夏場はブルーシート等で日差しをさえぎり、日陰の状態での材料や水を保管してください。
練り上がり温度の上昇を防止してください。

施工箇所	種石サイズ	配合割合			塗厚	施工面積
		種石	テクニカメント	水		
壁面	1分	40kg	20kg	約8L	8mm	3.3㎡
	1分	40kg			9mm	3㎡
床面	2分	50kg	20kg	約8L	12mm	2.5㎡
	3分	50kg			15mm	2㎡

使用・施工上の注意

1. 下地のレイタンス・ホコリ・ドロ・油脂分・離型剤などは入念に除去してください。
2. 気温5℃以下の環境では、作業は中止してください。防凍剤・耐寒剤は混入できません。
3. 急激な乾燥は硬化不良・キレツ発生の原因となります。高温・強風下での施工は避けてください。
4. 硬化遅延剤『アピアスプレー』を散布する際、下地モルタル・コンクリートにかからないようご注意ください。『アピアスプレー』がかかった下地に下塗材・上塗材を施工すると剥離する恐れがあります。かかった場合は、必ず水で洗い流してください。
5. 施工前に必ず本紙にて詳細を確認の上、施工してください。

取り扱い上の注意

1. 粉塵を長期間吸引すると肺への障害を生じる恐れがあります。取り扱い時には防塵マスクを使用してください。
2. 皮膚についたり、目に入ると、炎症を起こすことがありますので、保護手袋・保護眼鏡を使用してください。万一目に入った場合は、多量の水で速やかに洗浄してください。
3. 詳細な注意事項は、安全データシート (SDS) を事前にお読みください。

D2023.12.25

お問い合わせ

株式会社
HANEDA KAGAKU
TEL.0555-84-8070 FAX.0555-84-8071



- 本社 03-3552-4310
- 名古屋支店 052-703-0303
- 北関東支店 0480-58-6311
- 仙台支店 022-298-6165
- 南関東支店 042-700-1200
- 福岡営業所 092-629-0416
- 大阪支店 06-6385-6211
- 札幌営業所 011-731-0222

販売代理店

テクニカメント

TECHNICAMENT

伝統を受け継ぐ洗い出し工法

1

下塗材 塗布



下地 清掃・水湿し

- 下地のホコリ・ドロ・レイトランスなどは、水洗いまたは高圧洗浄機などで入念に除去してください。

下塗材 塗布

- モルタル・コンクリート下地に適度な水湿しをしてから『テクニカメント下塗材』を約1mmの厚さでコテ塗りします。
下塗材塗布後、おっかけで上塗材をコテ塗りしてください。

2

上塗材 コテ塗り



上塗材 くばり塗り・定木均し

- 木ゴテや定木で規定厚に上塗材をくばり塗ります。

おっかけ水打ち、コテ均し

- 上塗材をくばり塗ったら、ただちに表面に適度に水を打ち、金ゴテで均します。(水打ちはシーラー刷毛が便利です。)
- 表面のアマがやわらかくなるまで水打ちとコテ均しを2、3回繰り返してから、種石の頭が平坦に並ぶように丁寧にコテで均してください。

ポイント!! 水打ちとコテ均しをおっかけで2、3回繰り返します。

適度にしまるまで待つ 日向: 30分以上60分以内!! 日陰: 60分以上90分以内!! **ポイント!!** しまりすぎに注意

3

ふせ込み



ハケで水打ちし、表面のアマをもどす

- 上塗材の表面に水が浮くほど十分に水を打ちます。
- ハケで石の凹凸が平均に出る深さまで表面のアマをもどします。

コテで均してアマをやわらかくする

- 左右に何度もコテで均し、表面のアマをやわらかくします。種石の頭がわかるくらい丁寧にコテで均しアマをやわらかくもどします。

ポイント!! 端部や入隅も丁寧にもどします。

3

ふせ込み



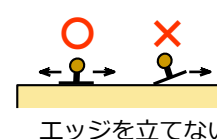
余分なアマをローラーでしごき取る

- 水を含んで柔らかくなったアマをローラーを転がしてしごき取ります。
- 余分なアマはチリトリで取り除きます。

平滑にコテで均す

- 石の頭がそろうようにコテで平滑に均します。

ポイント!!



4

遅延剤散布



おっかけでアピアスプレーを散布

- 電動式噴霧器等で硬化遅延剤『アピアスプレー』を散布します。(200cc/m²)
- 均一に、しっかりと濡れるように散布します。

下地モルタル・コンクリートにかからないよう注意してください。

当日洗い

硬化するまで待つ!!

屋外など硬化が早い場合

屋外などで硬化が早い場合は、表面が乾いてがっちり固まったら、洗い出してください。

洗い出しのタイミング 『アピアスプレー』散布後 **3時間以上10時間以内**

屋内など硬化が遅い場合

屋内や日陰などで硬化が遅い場合は、塗布面を指で強く押しても種石が動かなくなるくらい固まったら、洗い出してください。

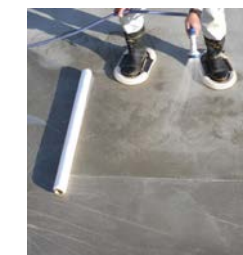
洗い出しのタイミング 『アピアスプレー』散布後 **4時間以上10時間以内**

※ シート養生なしの場合、『アピアスプレー』を散布してから10時間以内に洗い出してください。
直射日光下、表面が乾いて白くなくても洗い出せます。

翌日洗い

シート養生が必要!!

屋外など乾燥が早い場合



『アピアスプレー』を散布した後、塗布面が乾き色になり、歩いてもへこまないくらい硬化したら、上塗材の上に散水し、シート養生します。

表面が湿る程度に散水することでシートがピタッと貼りつきます。

屋内や冬期など乾燥が遅い場合

『アピアスプレー』を散布した後、塗布面は湿っているがスポンジスリッパで歩いてへこまないくらい硬化してから、シート養生します。

湿り気がある場合は、散水せずにシートを貼り付けます。

5

洗い出し



洗い出し

- 表面のアマを洗い流します。上塗材の硬化状態により、シーラーバケ・スポンジ、デッキブラシ・タワシ等を使い分けてください。

ポイント!!



家庭用高圧洗浄機(吐出圧力6.5Mpa程度)も便利です。